

こんにちは。鳥取県東南アジアビューローの辻です。

先月の当報告書でもお伝えしました通り、3月24日に総選挙が行われました。即日開票が行われ、小選挙区の議席ではタクシン派のタイ貢献党が350議席中138議席を獲得し勝利宣言をしましたが、比例区の150議席についてはまだ結果が発表されておらず、まだ各党の獲得議席が確定していません。最終的な公式発表は5月6日までに発表されると報じられていますが、軍政派、タクシン派、反タクシン派のいずれの勢力も単独過半数を獲得できないと見られており、今後の連立の行方が注目されています。

日本では年度が変わる3月-4月、町中には新社会人の姿も多く見られるのではないでしょう。今回はタイの求人事情についてレポートをお届けします。

【日本語人材について】

タイには5,000社以上の日系企業が進出しており、業種も多岐にわたっています。多くの企業では、意思疎通に時間をかけていられないのが実情であり、日本語ができるタイ人の人材を必要としています。英語を採用条件にしている企業もありますが、日本人は日本語英語、タイ人はタイ語英語であることが多く、仮に一方がネイティブ並みに話すことができたとしても意思疎通がうまくいかないことがあります。タイ語は声調や発音が難しく、赴任前もしくは赴任後に少し勉強した程度ではなかなか仕事で通じるレベルにならないこと、長年住んでいて話すことができたとしても、文字を正確に読める人はあまりいないことから、必然的に日本人とタイ人従業員との間で使用される言語は日本語になることが多くなります。

タイ進出企業が実際に採用する人材に求める日本語能力は「自己紹介や身の回りのごく簡単な会話ができるレベル」「ゆっくりとしたスピードであれば日常会話ができるレベル」「自然に近いスピードでの社内会話やメールのやり取りができるレベル」「通常のスピードでの聞き取りや会話、通訳ができるレベル」等です。そこで、それを判断するひとつの基準として、タイにおいても日本語能力試験(JLPT)の段階評価がよく使われています。JLPTにはN5(5級)からN1(1級)までの5段階のレベルがあり、数字が小さくなるにつれレベルは上がります。

【日本語人材の給与相場と日本語レベル】

日本語関連の学科がある一般的な大学(※表2)の学生は卒業までにN3の取得を目指しています。名門のチュラロンコン大学やタマサート大学になると、日本語関係の仕事に就くことを視野にいれている学生のほとんどが卒業までにN2を取得しています。

例えば、N3取得者の場合、右表(※表1)が給与の目安になります。そこに、N2やN1を取得している、英語が堪能である、海外への留学経験(大学/日本語学校)がある、勤務先がバンコク近郊や地方であってもよい等の条件が加わると、さらに5,000~20,000THB程度アップすると考えていいでしょう。

実務経験	給与相場
大卒新卒者	18,000~25,000 THB
1~3年	23,000~35,000 THB
3~5年	30,000~50,000 THB
5~10年	50,000~70,000 THB

※表1 (2018年当社調べ)

<日本語関連の専攻課程を開講している主な高等教育機関>

※表2

	大学名		所在地
1	チュラーロンコーン大学	国立	バンコク都/中部
2	タマサート大学ランシット校	国立	バンコク都/中部
3	カセサート大学	国立	バンコク都/中部
4	シーナカリンウィロート大学	国立	バンコク都/中部
5	スワンスナンター・ラチャパット大学	国立	バンコク都/中部
6	チャンカセーム・ラチャパット大学	国立	バンコク都/中部
7	キングモンクット工科大学ラーカバン校	国立	バンコク都/中部
8	ラチャモンコン・クルンテープ工科大学	国立	バンコク都/中部
9	ラチャモンコン・ラタナコーシン工科大学	国立	バンコク都/中部
10	ラームカムヘーン大学	国立	バンコク都/中部
11	タイ国立開発行政研究員 / NIDA ※大学院大学	国立	バンコク都/中部
12	泰日工業大学	私立	バンコク都/中部
13	タイ商工会議所大学	私立	バンコク都/中部
14	サイアム大学	私立	バンコク都/中部
15	トゥラキットバンディット大学	私立	バンコク都/中部
16	ランシット大学	私立	パトゥムタニー県/中部
17	イースタンアジア大学	私立	パトゥムタニー県/中部
18	パンヤーピワット経営大学	私立	ノンタブリー県/中部
19	アサンブション大学	私立	サムットプラカーン県/中部
20	シラバコーン大学	国立	ナコムパトム県/中部
21	プラナコーンシーアユタヤー・ラチャパット大学	国立	アユタヤ県/中部
22	ラチャパット・ラーチャナカリン大学	国立	チャチェンサオ県/中部
23	カンチャナブリー・ラチャパット大学	国立	カンチャナブリー県/中部
24	ペッチャブリー・ラチャパット大学	国立	ペッチャブリー県/中部
25	テープサトリー・ラチャパット大学	国立	ロップブリー県/中部
26	ブラパー大学	国立	チョンブリー県/中部
27	チェンマイ大学	国立	チェンマイ県/北部
28	チェンマイ・ラチャパット大学	国立	チェンマイ県/北部
29	ピブーンソクラーム・ラチャパット大学	国立	ピサヌローク県/北部
30	ナレースワン大学	国立	ピサヌローク県/北部
31	チェンライ・ラーチャパット大学	国立	チェンライ県/北部
32	ナコンサワン・ラチャパット大学	国立	ナコンサワン県/北部
33	ペッチャブーン・ラチャパット大学	国立	ペッチャブーン県/北部
34	パヤオ大学	国立	パヤオ県/北部
35	ウッタラディット・ラチャパット大学	国立	ウッタラディット県/北部
36	ナコーンラーチャシーマー・ラチャパット大学	国立	ナコーンラーチャシーマー県/東北部
37	マハーサーラカム大学	国立	マハーサーラカム県/東北部
38	ラーチャパット・マハーサーラカム大学	国立	マハーサーラカム県/東北部
39	ウボンラーチャターニー大学	国立	ウボンラーチャターニー県/東北部
40	ウボンラーチャターニー・ラチャパット大学	国立	ウボンラーチャターニー県/東北部
41	コンケン大学	国立	コンケン県/東北部
42	シーサケート・ラチャパット大学	国立	シーサケート県/東北部
43	タクシン大学ソクラー校	国立	ソクラー県/南部
44	プリンス・オブ・ソクラー大学パッタニー校	国立	パッタニー県/南部

(2018年当社調べ)

【人材募集の方法】

タイでも日本と同様に、職業安定所（タイ労務省職業斡旋局）、人材紹介会社、求人サイト、ジョブフェア、ポスター（工業団地の事務所掲示板、会社入口等への掲示）、新聞広告やフリーペーパー等が利用されています。近年では、Facebook、Instagram、TwitterといったSNSを活用している企業が増えており、中でもFacebookのタイ国内の利用者数は人口の7割を超えているため、タイにおいては有効であると言えます。

主な利用先の特徴を以下に紹介します。

◆職業安定所（タイ労務省職業斡旋局）

利用者数はそれほど多くありませんが、最近では求職者のWEB登録も出来るようになり、登録者が増えてきています。外国語対応がなく、基本的にタイ語であるため、タイの企業が主な利用者です。求人掲載料が無料であることから、外資系の企業でもタイ語対応が可能で、且つ採用までに時間的な余裕がある企業にとっては利用価値があるでしょう。

◆人材紹介会社

タイ企業から外資系企業まで様々な人材紹介会社が存在します。日系企業向けサービスを行っている人材紹介会社では、日本人の担当者、もしくは日本語対応可能なタイ人の担当者が基本的に常駐しています。特に進出したばかりの日系企業は言葉の問題があることから、募集条件等の詳細を日本語で伝えることが出来る人材紹介会社を利用することが多いようです。また、タイの求人関連の知識や現地情報のサポートをしてもらえ安心であることも理由のひとつとなっています。

日系の人材紹介会社は成功報酬制のところが多く、ある会社では採用した人材の年収の20～25%前後にあたる金額を手数料として設定しています。人材が早期に退職してしまった場合には、代替りの人材を探したり、在籍日数に応じて返金したりと何らかの保証を設けているところもあります。求める人材がすぐに見つかるとは限らないため、複数の人材紹介会社への登録がお勧めです。

◆求人サイト

求人情報の掲載期間やポジション数、レジュメ（職務履歴書）検索可能数によってプランを選ぶこととなります。掲載料金はプランによって数千バーツから数十万バーツです。大手求人サイトは、英語のページもあり日本人でも比較的に利用しやすく、採用担当のスタッフが居る企業であれば、求職者と直接連絡が取れることから、採用人数や職種によっては、人材紹介会社ではなく求人サイトを利用するのも良いでしょう。

◆ジョブフェア

小規模なフェアでも1千人、大規模になると2万人程度が来場します。

主な実施団体には求人サイトや大学、バンコク日本人商工会議所があげられますが、出展料はブースの大きさにより設定されており、数万バーツです。来場した多くの求職者に自社のアピールができるため、タイ企業、外資系企業問わず利用されています。一度に何人もの採用を予定しているのであれば、出展を検討してみてもいいかもしれません。採用コストの削減にも繋がるケースもあります。

◆求人ポスター（工業団地の事務所掲示板、会社入口等への掲示）

マネージャークラスの募集ではなく、主にワーカークラスを募集する際に活用されているようです。お金と手間を掛けずに募集をかけられるというメリットがある一方で、自社で初期の段階から応募者すべてに目を通さなければならないというデメリットがあり、採用には労力と時間が掛かるケースが多いようです。

◇◆◇5月～6月にタイで行われる主な展示会・見本市◇◆◇

ASEANbeauty 2019

会期	2019年5月2日～4日
会場	BITEC (バイテック国際貿易展示センター)
出展対象品	スキンケア・薬用化粧品、化粧品・トイレタリー、SPA&ウェルネス、オーガニック、美容用品・アクセサリ、ヘア・ネイルアクセサリ、痩身・ダイエット、サプリメント、フレグランス、等。
開催規模 (2018年実績)	来場者数：9743人 出展社数：253社 展示面積：9,600㎡
特徴	アジア各国から集まるタイ最大の国際美容産業展。
公式 Web サイト	https://www.aseanbeautyshow.com/en-us/

INTERMACH +SUBCON THAILAND+SEET METAL ASIA (併催)

会期	2019年5月8日～11日
会場	BITEC (バイテック国際貿易展示センター)
出展対象品(INTERMACH)	エアコンプレッサー、オートメーション、固定具、ハンドツール、電動工具、油圧、工業用洗浄、工作機械、機械加工、金属加工、計測、金型、板金、工具、切削工具。
出展対象品 (SUBCON THAILAND)	コンポーネント及び自動車部品、金属/プラスチック自動車、電気・電子部品、金型設計、ファスナー、オートメーション/ソリューションプロバイダ、ソフトウェア、表面処理、産業サプライ&サービス。
出展対象品 (SHEET METAL ASIA)	板金曲げ機、切断機、形成機、圧延機、スタンピング機、自動パンチプレス機、製作及び創造用板金、板金付属品。
開催規模 (2018年実績)	来場者数：40,627人
特徴	ASEAN 最大級の機械見本市。世界 40 カ国、約 810 社の製造業や商社が最新の工作機械・機械部品などを展示。
公式 Web サイト	INTERMACH http://www.intermachshow.com/ SUBCON THAILAND http://www.subconthailand.com/

THAIFEX - World of food

会期	2019年5月28日～6月1日
会場	IMPACT エキシビション・センター
出展対象品	一般食品、冷凍食品、菓子類、飲料、酒類、ケータリングサービス、食品技術、包装、ホスピタリティ・サービス、小売・フランチャイズ、ハラル食品、等。
開催規模（2018年実績）	来場者数：62,039人 出展社数：2,537社 展示面積：93,500 m ²
特徴	世界トップクラスの食品輸出国であるタイで行われる食品・食品加工技術・サービスの見本市。会期前半3日間は専門バイヤーのみ、後半2日間は一般入場者へも開放。
公式 Web サイト	http://www.worldoffoodasia.com/

ASEAN SUSTAINABLE ENERGY WEEK+ ENTECH POLLUTEC ASIA（併催）

会期	2019年6月5日～8日
会場	BITEC（バイテック国際貿易展示センター）
出展対象品(ASEAN SUSTAINABLE ENERGY WEEK)	バイオ燃料、バイオガス、バイオマス、太陽光発電、太陽熱、風力・水力発電、エネルギー保存技術、等。
出展対象品(ENTECH POLLUTEC ASIA)	大気汚染制御・防止、空気清浄、分析・テスト機器、化学処理、制御機器・システム、環境コンサルティング、ろ過装置、危険物廃棄・排水処理機器、等。
開催規模（2018年実績）	来場者数：25,003人 出展社数：1,200社
公式 Web サイト	ASEAN SUSTAINABLE ENERGY WEEK http://www.asew-expo.com/ ENTECH POLLUTEC ASIA http://www.entechpollutec-asia.com/

ProPak Asia

会期	2019年6月12日～15日
会場	BITEC（バイテック国際貿易展示センター）
出展対象品	包装機械、醸造・飲料技術、製菓機械、化粧品・パーソナルケア処理及び包装材料、食品加工機械。
開催規模（2018年実績）	来場者数：48,799人 出展社数：1,581社 展示面積：58,000 m ²
特徴	アジア最大級の加工包装技術展示会。アジア諸国から様々なバイヤーが集まる。日本からの出展社も多数。
公式 Web サイト	http://www.propakasia.com

**Mfair バンコクものづくり商談会+ASSEMBLY & AUTOMATION TECHNOLOGY +
SURFACE & COATING+ InterPlus Thailand+ InterMold Thailand+AUTOMOTIVE
MANUFACTURING (併催)**

会期	2019年6月19日～22日 ※Mfair バンコクものづくり商談会のみ6月19日～21日
会場	BITEC (バイテック国際貿易展示センター)
出展対象品(Mfair バンコクものづくり商談会)	タイでの部品調達、販路拡大を目的とする製造業企業の商談会。 <対象品目・業種>金属製品、自動車・鉄道・船舶製品、鉄鋼業、非鉄金属、一般機械器具、電気機械器具、情報通信機械器具、電子部品・デバイス、精密機械器具、化学工業、プラスチック・ゴム製品、商社、IT (ソフト開発)、人材、物流など。
出展対象品(ASSEMBLY & AUTOMATION TECHNOLOGY)	産業オートメーション、組立技術。
出展対象品(SURFACE & COATING)	表面処理、塗装、およびコーティング。
出展対象品(InterPlus Thailand)	部品、化学品、産業用オートメーション、計測、制御、テスト、サービス、グリーンゾーン。
出展対象品(InterMold Thailand)	金型製造機械および技術。
出展対象品(AUTOMOTIVE MANUFACTURING)	自動車部品製造のための機械および技術。
開催規模 (2018年実績)	来場者数：90,769人
特徴(Mfair バンコクものづくり商談会)	ASEAN 最大級の業界特化型商談会。
特徴(ASSEMBLY & AUTOMATION TECHNOLOGY)	ASEAN で最も包括的な、産業オートメーションシステム&ソリューション、組立技術関連展示会。
特徴(SURFACE & COATING)	表面処理、塗料、コーティングソリューション関連国際技術展・ネットワークイベント。
特徴(InterPlus Thailand)	プラスチック製造業における機械・技術・化学品・原材料に関する総合展示会。
特徴(InterMold Thailand)	タイで最も包括的な国際金型製造機械・技術展示会。
特徴(AUTOMOTIVE MANUFACTURING)	タイで最も包括的な自動車パーツ製造技術展。
公式 Web サイト	Mfair バンコクものづくり商談会 http://www.mfairshow.com/ ASSEMBLY & AUTOMATION TECHNOLOGY https://www.assemblytechexpo.com/ SURFACE & COATING https://www.surfaceandcoatings.com/ InterPlus Thailand https://www.interplasthailand.com/ InterMold Thailand https://www.intermoldthailand.com/ AUTOMOTIVE MANUFACTURING https://www.automanexpo.com/

タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告書

2019年3月

当拠点の運営法人（鳥取県より業務委託）

■アジア・アライアンス・パートナー・ジャパン株式会社 <http://www.aapjp.com/index.html>

タイを中心に、ベトナム・インドネシア・インド・メキシコにて主に日系中堅・中小企業様の海外進出や進出後の会計税務法務を中心とした運営支援業務を行っております。

鳥取県東南アジアビューロー Tottori-Southeast Asia Trade and Tourism Bureau

担当：辻 三朗 Saburo Tsuji

Address: 1 Glas Haus Building, 12 FL., Room 1202/C, Soi Sukhumvit 25, Sukhumvit Rd.,
Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110

Tel : +66-(0)-2-632-8032

Mobile : +66-(0)-86-358-7298

ワンページタイ経済

項目	単位	2015	2016	2017	2018
GDP 成長率	前年比ベ (%)	2.8	3.2	3.9	4.2 (18年12月)
人口*	千人	67,293	67,506	67,697	67,882 (1月)
労働者の数*	千人	39,165	37,792	37,716	38,322 (2月)
失業率**	%	0.89	0.99	1.18	0.78 (18年12月)
最低賃金*	バンコク	300	300	310	325 (3月)
	チョンブリー	300	300	308	330 (3月)
	アユタヤー	300	300	308	320 (3月)
	ラヨーン	300	300	308	330 (3月)
賃金：全国製造業の平均	バーツ	12,305	12,402	12,473	13,224 (2月)
インフレ率**	前年比ベ (%)	▲0.90	0.19	0.67	0.5 (2月)
中央銀行政策金利*	%	1.50	1.50	1.50	1.75 (3月)
普通貯金率**	%	0.56	0.47	0.47	0.47 (2月)
ローン金利(MLR) **	%	6.75	6.47	6.35	6.32 (2月)
SET 指数*	1975年：100	1,288.0	1,542.9	1,753.71	1,638.65 (3月)
バーツ/100円**	バーツ	28.31	32.53	30.27	28.71 (3月)
バーツ/米ドル**	バーツ	34.25	35.30	33.9	31.61 (3月)
円/米ドル**	円	121.0	108.8	112.2	110.2 (3月)
車販売台数 (1月からの累計)	台数	795,905	765,593	869,763	180,190 (2月)
BOI 認可プロジェクト	件数	2,237	1,688	1,227	1,469 (18年12月)
BOI 認可プロジェクト金額	10億バーツ	809.4	861.3	625.08	549.48 (18年12月)

*期末、**平均